

## 能登の山岳信仰の霊場 ～石動山と山麓の歴史遺産～ (中能登町)

石川県と富山県の県境にそびえる主峰石動山は、古より神々が御坐す山として多くの人々を惹きつけた。

平安時代より伊須流岐比古神社が鎮座する山内は、最盛期中世には360余りの院坊に僧侶3千人が暮らしていたと伝えられる。神仏習合の世界を形成していた石動山の信仰は能登を中心に遠く東北まで延び、石動山僧侶たちによって布教された。

戦国の動乱から再興し、能登の霊場として定着していった石動山は、明治の神仏分離令により仏教色は一掃されたが、堂塔伽藍の痕跡は今なお残り、山麓の平野部では地域の人々によって石動山ゆかりの遺産が受け継がれている。



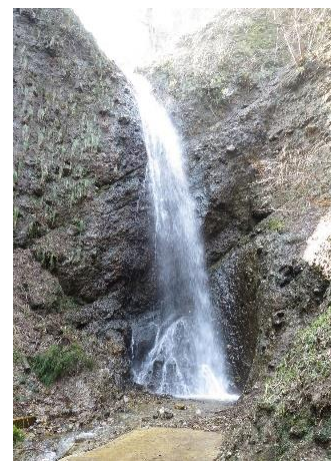
せきどうさん  
石動山



いするぎひこじんじやはいでん  
伊須流岐比古神社拝殿



きゅうかんぼう  
旧観坊



ふどうたき  
不動滝